

銅 概 況

大阪市中央区玉造2丁目28番10号
加藤金属興業株式会社

◎ 2020年3月の国内電気銅建値は下記の通りです。

3月	2日	～	640円/Kg
3月	5日	～	650円/Kg
3月	9日	～	630円/Kg
3月	12日	～	620円/kg
3月	17日	～	600円/kg
3月	19日	～	550円/kg
3月	25日	～	580円/kg

2020年3月度は平均で605.70円/kgとなり、前月比61.30円/kgの値下がりとなりました。

海外銅価の動き

3月のLME銅相場	3/2～3/31	(安値ドル 4,617.50～5,694.50 高値ドル)
3月のNYC銅相場	3/2～3/31	(安値セント 211.95～260.10 高値セント)

3月度のLME現物は、3/2 \$5,640.00 でスタート。3月に入り、コロナ感染は欧州から更にアメリカへの拡大が進む状況となり、世界経済への影響は計り知れない。米トランプ政権は2兆ドル規模の経済政策を打出すなど、大規模な対策で乗切ろうとするも、経済の混乱は収まる気配を見せない。

銅相場においてもその混乱には大きな影響を受けており、2020年1月にはまだ\$6,000を超えていたLME銅相場現物価格は、2月\$5,000半ばで終始する動きとなり、3月18日にはついに\$4,000台に突入する形となった。(4/23付LME現物 \$4617.50) 今後、コロナ感染拡大の終息が全く見えていない、この最悪の状況下においては、世界経済を注視して行く必要があるその一旦としての銅相場にも注意していきたい。

銅需給バランス…Brook Hunt 情報 2019年7月 資料より (単位/千トン)

	2018年 実績	2019年 実績	前年比	2020年 予想	前年比	2021年 予想	前年比
全世界地金生産	23,339	23,843	+2.2%	24,253	+1.7%	24,655	+1.7%
全世界地金消費	23,579	23,932	+1.5%	24,290	+1.5%	24,607	+1.3%
全世界需給バランス	-240	-89		-38		+48	

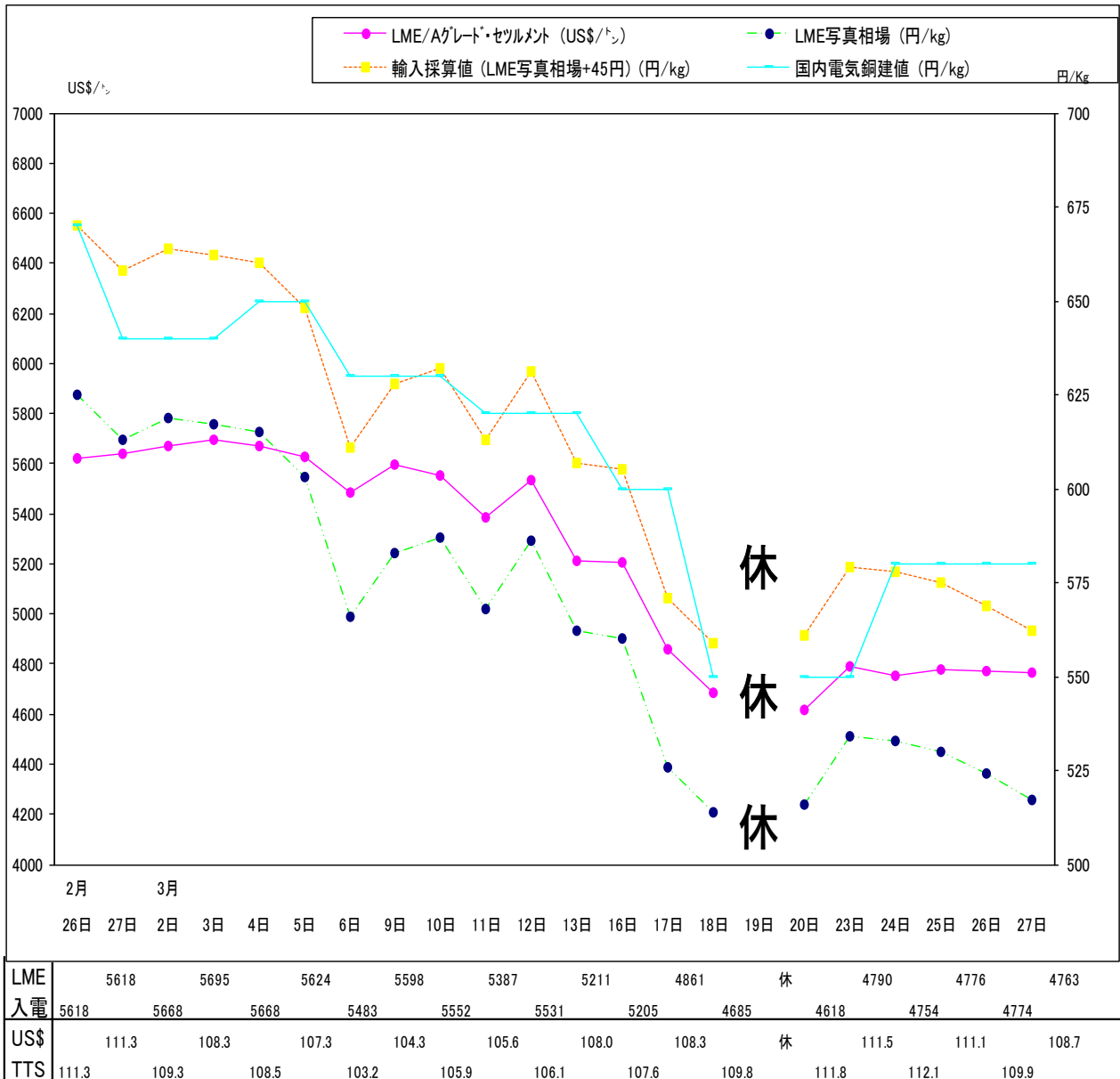
先行き短期見通

国内銅価

3月の国内建値はコロナと為替の動きにより大きく動いた。2日640円 → 5日650円 → 9日630円 → 12日620円 → 17日600円 → 19日550円 → 25日580円と合計6回の変動となった。

3/30付LME \$4,763.00、同為替(TTS) 1USD=108.72円で日本円換算計算値518円/kgに。2020年3月の国内電気銅建値のスタートは、以降変化のない限り、550円/kgの予想です。

◎ LME相場推移及び国内電気銅建値推移



◎ 2020年3月の国内亜鉛建値は下記の通りです。

- 3月 2日 ~ 268 円/kg
- 3月 5日 ~ 262 円/kg
- 3月 10日 ~ 250 円/kg
- 3月 16日 ~ 262 円/kg
- 3月 19日 ~ 256 円/kg
- 1月 26日 ~ 262 円/kg

平均259.40円/kg

2020年3月は上記の通りで前月比 25.90円/kgの値下げとなりました。

これはLME亜鉛相場の下落で引き下げられたもの

◎ その他の建値

電気鉛	3月	249.20 円/kg	(前月比-	20.80 円/kg)
電気錫 (相対)	3月	3,150.00 円/kg	(前月比-	50.00 円/kg)
ニッケル (溶解用)	3月中価格	1,350.00 円/kg	~ 1,400.00 円/kg	
銀	2月平均	64,690.00 円/kg	(前月比+	130.00 円/kg)
	3月31日	50,460.00 円/kg		
金	2月平均	5,665.78 円/g	(前月比+	139.89 円/g)
	3月31日	5,670.00 円/g		

◎ 伸銅品関係

2020年2月の伸銅品・品種別生産速報 (全国ベース)

		1月度実績	2月度速報	前月比	前年2月度実績	前年同月比
銅	板	1,416	1,361	-3.9%	1,358	0.2%
	条	18,272	20,450	11.9%	21,521	-5.0%
	管	8,491	8,838	4.1%	9,072	-2.6%
	棒	1,933	1,976	2.2%	2,284	-13.5%
	線	228	234	2.6%	260	-10.0%
黄銅	板	424	559	31.8%	611	-8.5%
	条	7,180	7,308	1.8%	8,729	-16.3%
	管	483	495	2.5%	502	-1.4%
	棒	14,270	14,077	-1.4%	15,419	-8.7%
	線	2,141	2,004	-6.4%	2,067	-3.0%
青銅	板	1,949	2,380	22.1%	2,029	17.3%
	条					
	棒	271	243	-10.3%	297	-18.2%
	線					
洋白・その他	板	390	443	13.6%	445	-0.4%
	条					
	棒	359	357	-0.6%	430	-17.0%
	線					
合計	57,807	60,725	5.0%	65,024	-6.6%	

2月の伸銅品生産速報は、60,725トンで前月比プラス2,918、前年同月比マイナス6.6%となり、前年同月比が15ヶ月連続でマイナスとなりました。

電 線 関 係

電線工業会がまとめた銅電線主要7部門別出荷数量の19年12月分実績及び1月分推定では、12月分実績は自動車と建設電販等は前年を上回ったものの、電気機械とその他内需などが減少し、総計は5万6千694tで前年同月比0.1%減となった。

この結果、19暦年(1月～12月)通期の電線出荷総計は、69万6千547tで前年比0.2%増加した。建設電販(34.5万 同4.1%増)と自動車(9万t 同6.7%増)の2部門が健闘し全体を底上げした事で、トータルでわずかにプラスになった。一方、金額ベースでは銅価の下落で1兆2249億円で同土ゼロとなった。自動車(同8.3%増)建設電販(同0.8%増)その他内需(同2.5%増)の3部門が増。

一方、1月分の銅電線出荷推定では、自動車(前年同月比2.0%増)と建販(同1.1%増)の2部門がわずかに増加し、通信も前年を上回ったが、電気機械が低迷するなど他が振るわず、総計は5万4千100t(同1.3%減)と4ヵ月連続で減少する見通し。

12月分の部門別出荷は、プラスグループは電力、自動車と建販、輸出の4部門。電力は洋上風力発電と一部張替え需要があり、同3.3%増と4ヵ月ぶりにプラスに転じた。自動車は0.3%増と3ヵ月ぶりに伸長し、建設電販は五輪関係の減速もその他の需要があり、同1.3%の増。輸出は欧州向けが健闘し同16.1%増となった。一方マイナスグループは4部門。通信は再び沈み同7.8%減、電気機械は貿易摩擦の影響で同5.7%減少し16ヵ月連続のマイナス。その他内需も設備投資の鈍化で同2.6%減となった。

2019年12月分(実績)・2020年1月分(推定)主要部門別出荷

部門	数 量						金 額		
	12月実績 (t)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)	1月推定 (t)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)	12月実績 (百万円)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)
通信	811	▼15.0	▼7.8	900	(11.0)	(14.5)	1,265	▼13.5	▼9.2
電力	(955)	(▼32.7)	(▼17.0)	(1,400)	(46.6)	(▼6.3)	(704)	(▼25.4)	(▼25.7)
	3,221	▼21.6	3.3	4,000	24.2	7.0	3,817	▼19.3	1.7
電気機械	(303)	(4.1)	(▼17.4)				(265)	(3.5)	(▼26.6)
	10,933	▼3.3	▼5.7	10,600	▼3.0	▼5.8	14,972	▼3.4	▼6.7
自動車	(164)	(▼3.5)	(37.8)				(555)	(▼2.5)	(5.7)
	7,275	▼5.3	0.3	7,200	▼1.0	2.0	32,711	▼5.9	▼3.6
建設・電販	(19)	(▼20.8)	(18.8)				(20)	(▼4.8)	(25.0)
	28,574	▼4.5	1.3	26,400	▼7.6	1.1	32,125	▼4.3	▼1.9
その他内需	(65)	(▼3.0)	(54.8)	(500)	(▼9.3)	(▼15.3)	(78)	(21.9)	(39.3)
	3,826	▼7.5	▼2.6	3,900	1.9	▼3.9	6,475	▼8.9	▼2.3
内需計	(1,506)	(▼23.6)	(▼11.2)	(1,900)	(26.2)	(▼8.8)	(1623)	(▼12.4)	(▼14.8)
	54,640	▼6.0	▼0.6	53,000	▼3.0	0.0	91,364	▼6.0	▼3.3
輸出	(925)	(92400.0)	(92400.0)	(1,200)	(29.7)	(257.1)	(486.0)	(4760.0)	(6842.9)
	2,054	141.4	16.1	1,100	▼46.4	▼39.7	6,171	60.2	7.2
合計	(2,431)	(23.2)	(43.3)	(3,100)	(27.5)	(28.1)	(2,109)	(13.2)	(10.3)
	56,694	▼3.8	▼0.1	54,100	▼4.6	▼1.3	97,535	▼3.4	▼2.7
心線販売	(401)	(▼26.4)	(▼72.5)	(600)	(49.6)	(▼60.2)	(96)	(▼27.8)	(▼76.0)
	26,759	▼13.2	▼7.2	26,200	▼2.1	▼1.8	18,128	▼12.2	▼14.9

(注) ()内はアルミ線を示し外数。ただし推定欄のアルミ線は電力、輸出部門以外は「その他内需部門」に一括計上。▼はマイナス。
金額は四捨五入の為計が合わない場合がある。

2019年12月分品種別出荷 単位:銅量:トン アルミ量:トン 金額:百万円

品種	数量	対前月比 (%)	対前年 同月比(%)	金額	対前月比 (%)	対前年 同月比	
裸線	3,625	2.3	▼5.5	2,964	3.2	▼15.7	
巻線	10,402	▼3.7	▼3.9	11,040	▼3.5	▼5.5	
機器用電線	3,229	▼4.4	▼6.5	9,329	▼5.9	▼4.4	
通信用電線・ケーブル	1,269	▼7.8	▼10.9	2,864	▼6.5	▼7.3	
電力用電線・ケーブル	21,296	▼6.3	7.5	22,277	▼2.0	7.0	
被覆線	11,231	▼0.1	▼2.3	15,280	▼2.5	▼4.0	
輸送用電線	5,642	▼4.1	▼4.4	33,780	▼4.3	▼4.8	
銅電線計	56,694	▼3.8	▼0.1	97,535	▼3.4	▼2.7	
EM電線・ ケーブル	通信用電線・ケーブル	71	▼16.5	0.0	235	▼15.5	4.9
	電力用電線・ケーブル、被覆線	3,496	▼7.6	16.1	3,973	▼7.9	12.0
	計	3,573	▼7.8	15.7	4,239	▼8.2	11.3
アルミ電線計	2,431	23.2	43.3	2,109	13.2	10.3	
光製品	2,633,617	▼7.2	▼32.9	26,159	5.8	14.7	
うち、光ファイバーケーブルコード	-	-	-	5,793	11.1	25.1	

(注) 1. EM電線・ケーブルはJCS規格17品種が対象であり、機器用、消防用等のノンハロタイプは含まれない

(注) 2. 四捨五入の為計が合わない場合がある。

(注) 3. 光製品の数量はkmc

(注) 4. ▼はマイナス

◎ アルミニウム関係

- 国際アルミニウム地金相場、第1週は、引き続き新型コロナウイルスの感染拡大により米国株価が下落する中、FRBは臨時利下げを示唆。中国1月製造業PMIは35.7と過去最低値を記録。週中にFRBが緊急利下げを実施。リスクオンから一時、値を戻すもカリフォルニア州での非常事態宣言の発動などにより、米国株価の激しい値動きの中、アルミ相場は、軟調に推移。第2週、米国内で新型コロナウイルスの感染拡大が確認され、米国株価は引き続き下落。また、週末行われたOPECプラスにて減産交渉が決裂。サウジアラビアが大幅な増産計画と公式販売価格の値下げを発表し、原油先物が大幅下落。株価、非鉄相場も急落する。WHOによるパンデミック宣言に加え、米政府による景気対策の不透明感から米国株価は、再度大幅下落。パンデミックによる混乱で上値は重い展開。第3週、中国の主要統計が前月比大幅なマイナスを記録し、新型コロナの影響は鮮明に確認され、世界各国で新型コロナウイルス対策を打ち出されるもセンチメント変わらず上値は重い。ドイツ3月景況感指数が大幅に悪化し、ドル高ユーロ安が進むと、アルミ相場は一段の下落。各国が景気刺激策を発表するも、景気後退懸念は拭えず、株・商品相場ともに大幅下落。第4週、新型コロナウイルスによる経済活動の鈍化は避けられないことから上値は限定的。LME倉庫在庫が増加傾向にあるが、中国、カナダ、アルゼンチンでは減産が発表されているため、当面は\$1,550付近の狭いレンジで揉み合う展開を予想。

○ 対日オファー及び国内価格

- ・対日オファー（CIF） 2020年 2~3月積 1,606.00~1,619.00 ドル/トン
- ・輸入採算価格 2020年 2~3月積 190.90~192.50 円/kg
- ・NSP 2020年 1月 246.40 円/kg
- ・NSP（メーカー対応価格） 2020年 4月~6月 250.00 円/kg

○ IAI統計アルミニウム新地金生産高（単位=千トン）

	'20年1月	'20年2月	'19年2月
月生産	*2,371.0	2,233.0	2,151.0
平均日産	*76.5	77.0	76.8

(*＝訂正有り) 中国は対象外にしております。

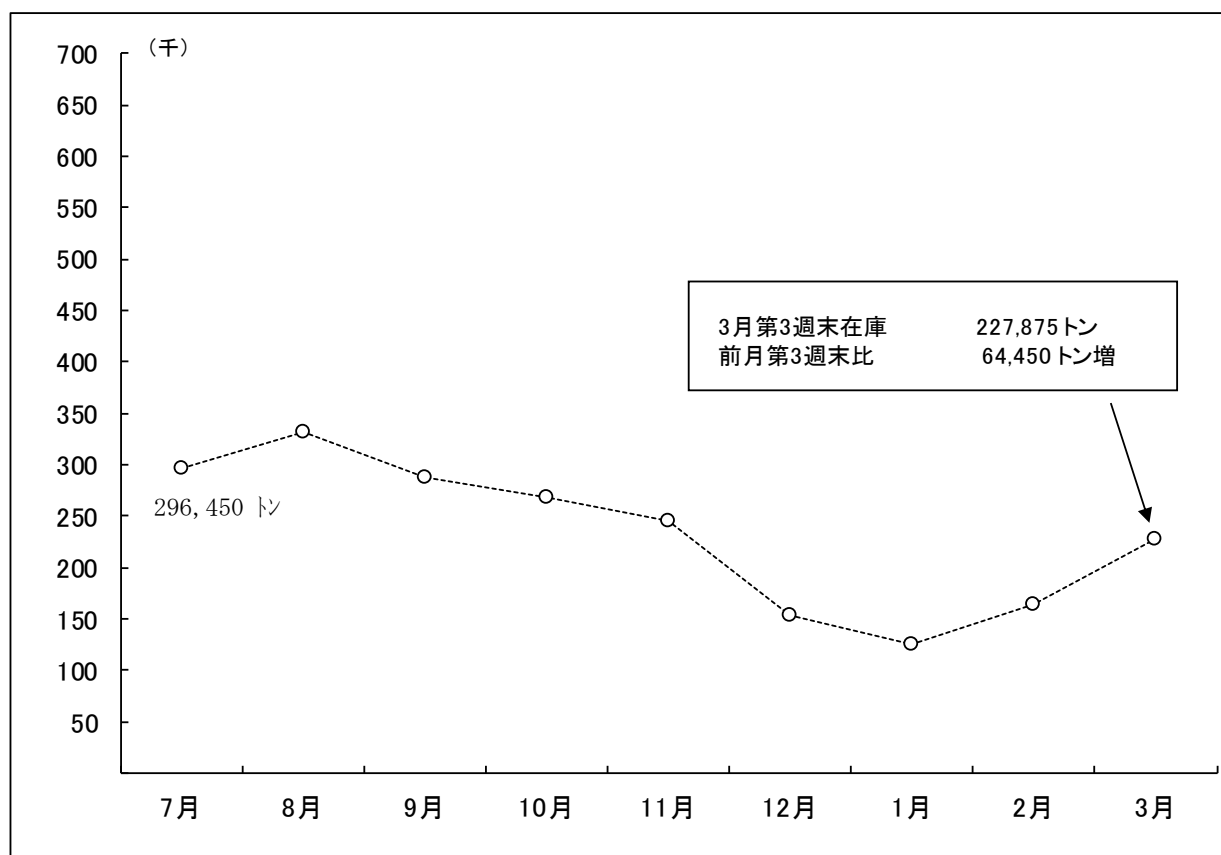
○ アルミインゴット港湾在庫

(単位：トン)

	2019年11月	2019年12月	増減	2018年12月	増減
横浜	155,000	160,000	+5,000	150,700	+9,300
名古屋	151,200	139,000	-12,200	151,100	-12,100
大阪	15,000	15,000	±0	15,000	±0
合計	321,200	314,000	-7,200	316,800	-2,800

上記アルミインゴット港湾在庫に変更致しました。(2015年1月分からの変更です)

◎ LME銅在庫 (各月第3週末参考)



◎ COMEX在庫 (第3週末)

・20年3月20日現在 27,996 S T 前月比 961 S T 減

◎ 国内山元電気銅在庫

・20年1月末 114,558 トン 前月比 16,330 トン増

◎ 伸銅品生産実績

・20年1月確報 57,807 トン
 ・20年2月速報 60,725 トン 前月比 104.8%

◎ 電線出荷実績

・20年2月速報 54,700 トン 前月比 101.1%

◎ 軽圧品生産実績

・20年 2月	板 類	88,754 トン	
	押 出 類	55,420 トン	
		144,174 トン	前月比 108.4%

以上簡単ですが銅概況、他のご報告申し上げます。